

## 病害虫発生予察注意報第 3 号

佐賀県

作物名：普通期水稻（中晩生品種）

病害虫名：トビイロウンカ



### 1) 注意報の内容

発生地域：県内全域

予想発生量：平年よりやや多く前年より多い

### 2) 注意報発令の根拠

- (1) 10月3日に実施した普通期水稻の調査（37圃場）では、トビイロウンカの発生圃場率 59.5%（平年 72.8%、前年 25.8%）、発生株率 20.8%（平年 19.7%、前年 2.2%）であり、平年並の発生であるが、圃場によっては成虫及び幼虫の局所的な多発生や坪枯れ症状の発生が認められた（図1、表1、写真1、2）。
- (2) 本年における本虫の予想発生パターンでは、10月上旬以降に新たな世代の幼虫が発生すると考えられ、圃場によっては今後さらに発生が増加すると予想される。（平成28年8月17日病害虫対策資料第7号参照）
- (3) 福岡管区气象台が9月29日に発表した九州北部地方の予報では、向こう1ヶ月の気温が高い確率は50%とされており、本虫の発生に好適な条件となっているため、今後も被害が拡大する恐れがある。

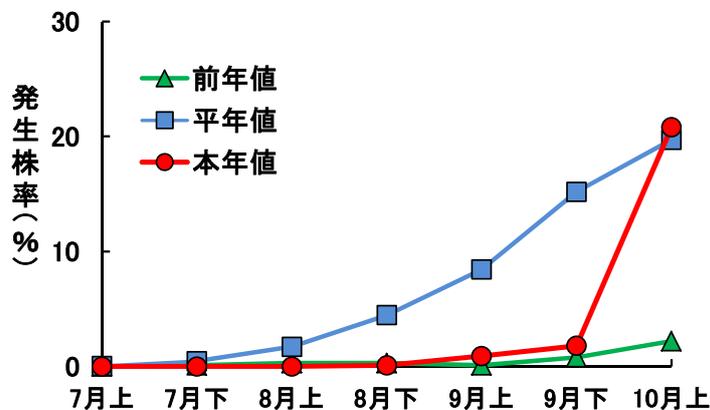


図1 普通期水稻でのトビイロウンカの発生推移

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 収穫適期を迎えた圃場では、速やかに収穫を行う。
- (2) 本虫の発生状況は圃場間や同一圃場でも偏りがあり、圃場の外からの観察だけでは発生状況を確認できない。このため、これまでの防除実績にかかわらず、必ず各圃場毎に発生状況を確認し、防除の要否を判断する。
- (3) 多発生が認められた場合は、表2を参考に収穫前使用日数及び使用回数等の農薬使用基準を遵守し、早急に薬剤による防除を行う。なお、防除後に生存虫が多数みられる場合には、追加防除を行う。
- (4) 本種は株元に生息しているので、薬剤は株元まで十分かかるよう、丁寧に散布する。
- (5) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努める。また、周辺環境に十分配慮し、ミツバチへの被害を回避するため、予め養蜂農家に農薬の散布時期や散布時間等を伝達するなどの対応を行う。

表1 普通期水稲トビイロウンカ調査結果  
(2016年10月3日調査、25株調査)

調査地点	寄生株数	※最高頭数		幼虫の齢	の坪枯れ	品種
		成虫	幼虫			
多久市	1	1	1	老	無	さがびより
"	1		1	老	無	さがびより
"	0				無	さがびより
"	16	3	40	若~老	有	さがびより
"	1		1	老	無	さがびより
小城市	0				無	不明
"	0				無	不明
"	0				無	不明
"	0				無	不明
"	25	5	30	中~老	有	さがびより
"	0				無	さがびより
鳥栖市	0				無	不明
"	0				無	ヒノヒカリ
"	0				無	ヒノヒカリ
神埼市	8		3	老	無	ヒノヒカリ
"	6		2	中	無	ヒヨクモチ
"	0				無	ヒヨクモチ
"	4	1	1	中~老	無	ヒノヒカリ
吉野ヶ里町	0				無	ヒヨクモチ
"	6	1	2	老	無	ヒヨクモチ
"	0				無	ヒノヒカリ
"	0				無	ヒノヒカリ
伊万里市	16		20	若~老	無	たんぼの夢
"	12		30	若~老	無	たんぼの夢
"	3	1	1	中	無	たんぼの夢
"	3	1	1	中	無	たんぼの夢
武雄市	8		3	若~老	無	さがびより
"	15	5	7	中	有	さがびより
白石町	3		1	老	無	ヒノヒカリ
"	4		1	老	無	ヒヨクモチ
"	2		1	中	無	ヒヨクモチ
"	1	1			無	ヒノヒカリ
"	20	20	100	中~老	有	ヒヨクモチ
"	21		20	若~老	有	ヒヨクモチ
鹿島市	0				無	ヒヨクモチ
"	0				無	ヒヨクモチ
"	16		15	若~老	有	ヒヨクモチ
発生圃場率(%)	59.5		16.2			
発生株率(%)	20.8					
平年発生株率(%)	19.7					
(平年比)	並					
前年発生株率(%)	2.2					
(前年比)	多					

※25株調査のうち最も発生が多かった株の最高頭数を示す



写真1 トビイロウンカによる坪枯れの状況 (平成28年10月3日撮影)



写真2 イネに多数発生したトビイロウンカ (平成28年10月3日撮影)

表2 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤

※佐賀県施肥・病害虫防除のてびきに掲載している薬剤を記載

薬剤名	成分名	希釈倍率	10a当たり処理量・散布量	使用時期	本剤の使用回数
アブロードスタークルゾル	ブプロフェジン・ジノテフラン	1000倍	60~150L	収穫7日前まで	3回以内
クラブジョーカーフロアブル	エチプロール・シラフルオフェン	1000倍	60~200L	収穫14日前まで	2回以内
クラブ粒剤	エチプロール	-	3kg	収穫14日前まで	2回以内
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	3000倍	60~150L	収穫7日前まで	3回以内
スタークルノアルバリン粉剤DL	ジノテフラン	-	3kg	収穫7日前まで	3回以内
スタークル豆つぶ	ジノテフラン	-	250~500g	収穫7日前まで	3回以内
スタークル粒剤	ジノテフラン	-	3kg	収穫7日前まで	3回以内
トレボン粉剤DL	エトフェンプロックス	-	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内
トレボン乳剤	エトフェンプロックス	1000~2000倍	60~150L	収穫14日前まで	3回以内
なげこみトレボン	エトフェンプロックス	-	水溶性容器10個(500ml)	5葉期以降 収穫21日前まで	3回以内
ビームスタークル微粒剤F	ジノテフラン・トリシクラゾール	-	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内
ベストガード粉剤DL	ニテンピラム	-	3~4kg	収穫14日前まで	4回以内
MR. ジョーカー粉剤DL	シラフルオフェン	-	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内
MR. ジョーカーEW	シラフルオフェン	2000倍	60~150L	収穫14日前まで	2回以内

注意1: 薬剤散布を行う際は、各有効成分の総使用回数についても確認し、超過しないようにする。

注意2: 無人ヘリや乗用管理機で薬剤散布を行う際は、表中の希釈倍率や使用液量とは異なるため、確認して散布する。

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088  
TEL (0952) 45-5297 FAX (0952) 45-5085